

# 放課後子どもプラン県中地区研修会

『子どもたちのよりよい放課後の居場所づくりと  
子どもたちの楽しい活動のために』

7月2日(木)、三春交流館「まほら」を会場として、放課後子どもプラン県中地区研修会を開催いたしました。

放課後子ども教室関係者(コーディネーター・安全管理員・活動指導員)を始め、児童クラブ関係者、行政担当者、そしてボランティアに関心のある方々等、総勢81名が出席した研修会となりました。

午前中は、「学校・家庭・地域の連携で築く子どもたちの未来」と題しての講演、午後は「子どもを引きつける楽しいレクリエーション」についての演習と「夢のある明日からの支援活動のために」と題した情報交換を実施しました。

以下に、研修会の様子を紹介いたします。



講演：「学校・家庭・地域の連携で築く子どもたちの未来」  
～子どもたちのよりよい放課後の居場所づくり～

講師：こだいら放課後子ども教室

コーディネーター 下村 咲子 氏

こだいら子ども教室における活動の紹介や、地域人材との交流の様子、コーディネーターの資質と役割等について、多くの資料を用いて話していただきました。

また、学校との協力体制のあり方として、放課後子ども教室が自立し、情報管理をしっかりと行い、信頼を得ることも大切な要素であることを具体的事例を挙げて教えていただきました。



演習：「子どもを引きつける楽しいレクリエーション」

講師：ボーイスカウト福島連盟理事長 増子 恵二 氏

アイスブレイキングや楽しくグループを作る方法等、体験活動とおして体得することができました。

後半は、グループによる対抗戦形式のゲームを行いました。フラフープを、手をつないだままぐったり、ボールを頭の上や股の下から後ろに回したりを複数回実施し、和やかな雰囲気の中、子ども教室や児童クラブにおいてそのまま活用できるスキルを学びました。



情報交換：「夢のある明日からの支援活動のために」  
～効果的な支援方法や悩みの共有化～

日常の活動上の悩みや効果的なスキル等、交流会を通じて活発な情報交換がなされました。

子どもたちの教室での「やくそく」やけがをしないための配慮等すぐに役立つ効果的な話し合いがなされました。

